

凡　　例

①寺院の順番　付表の順で、寺院ごとに並べる。

②出土地点　寺域内での位置、出土地区、出土日時の順に記す。

付表. 寺院の略号と掲載順

大安寺	6 B D A
法華寺	6 B F K ・ 6 B F O
元興寺	6 B G N
法隆寺	6 B H R
海竜王寺	6 B K A
興福寺	6 B K F
西大寺	6 B S D
西隆寺	6 B S R
東大寺	6 B T D
唐招提寺	6 B T S
薬師寺	6 B Y S

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 研形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考			
大安寺 6 B D A				
401	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F16	③	
	④ 円形硯	⑤ 外堤径11.0 研面径6.6 残存高2.1	⑥ 倒置 (硯裏面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1976『昭和50年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1-杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数15			
402	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA A11 751212	③ 暗灰褐土	
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.6 研面径17.0 残存高2.1	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1-杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨			
403	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA B11 751212	③ 瓦溜り	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長6.1	⑥ 倒置 (脚部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』	⑧ Ph. 5		
	⑨ 長方形透孔			
404	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F19	③ 大安寺駐車場	
	④ 円形硯 (有脚)	⑤ 外堤径19.0 研面径18.0 残存高1.4	⑥ 倒置 (硯裏面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1976『昭和51年度平城概報』・奈良市教委1997『史跡大安寺旧境内 1-杉山古墳地区の発掘調査・整備事業報告』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 研面に重焼き痕 (径13.2cm) 海部は硯面の一部を内堤で区画			
法華寺 6 B F K ・ 6 B F O				
405	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LE44 770208	③ 南北細溝	SD04
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 外堤径21.9 研面径16.7 底部径25.6	⑥ 正置 (海部、脚部外面、突帯上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 復原脚数15 *概報ではSD04			
406	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LE44 770207	③ 灰褐砂質土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径12.0 研面径8.0 残存高1.9	⑥ 倒置 (硯部内面、突帯下面に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり			
407	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LF43 770222	③ 黄褐砂質土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.2 研面径4.4 残存高2.6	⑥ 不明 (外堤部外面の一部に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり			
408	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LF44 770207	③ 南北細溝	SD04
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径12.6 残存高4.3	⑥ 倒置 (脚台部側面・内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 長方形透孔			
409	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LG42 770207	③ 石溝	SD03
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径21.0 残存高2.2	⑥ 倒置 (脚台部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 50		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 脚部下端に沈線4条 (透孔位置の基線カ)			
410	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LD44 770208	③ 黄褐砂土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径9.2 研面径6.4 底部径11.0 器高4.8	⑥ 倒置 (硯部内面、脚台部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』	⑧ PL. 17, Ph. 51		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 琥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
411	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LF44/LF44 770208/770207	③ 黄褐砂土/南北細溝	SD04
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.3 砯面径7.2 残存高2.2	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29			
412	① 98-17次	② 法華寺経樓推定地 6BFK LG44 770207	③ 灰褐砂土	
	④ 風字硯	⑤ 砯尻幅12.1 残存高2.0	⑥ 倒置(硯裏面に降灰)	
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨			
413	① 112-10次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 781222	③ 暗褐土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高4.6	⑥ 正置(脚部外面、脚台部上面・側面に降灰)	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』(一覧表のみ)		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨ 長方形透孔 脚柱部外面にヘラ描き沈線3条			
414	① 118-9次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 790724	③ 床土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.8 砯面径1.6 残存高1.5	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨			
415	① 123-4次	② 法華寺旧境内南西隅 6BFK 北トレチ 800501	③ 暗茶粘質土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径17.6 砯面径11.0 残存高3.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28			
416	① 141-1次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK DC32 820413	③ 東西溝	SD01
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径17.8 砯面径14.6 残存高2.8	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1983『昭和57年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 51	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23			
417	① 191-10次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK 東西トレチ 881214	③ 近世井戸埋土	
	④ 蹄脚円面硯 A	⑤ 外堤径19.9 砯面径16.4 残存高6.6	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』(一覧表のみ)		⑧ PL. 17, Ph. 52	
	⑨ 復原脚数25 砯面、外堤部外面にヘラミガキ			
418	① 191-12次	② 法華寺旧境内西辺 6BFO CZ 中区中B 890227	③ 表土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径20.0 砯面径13.4 残存高3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』		⑧ PL. 17, Ph. 52	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18 砯面外周に沈線1条			
419	① 280次(東地区)	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM96 971013	③ 黒色炭	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径26.4 残存高2.4	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-III』		⑧ PL. 17, Ph. 52	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数53			
420	① 280次(東地区)	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM97 971020	③ 北側溝 暗灰砂	SD5200
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-III』		⑧ Ph. 52	
	⑨ 長方形透孔			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 研形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
421	① 281次	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM86 970807	③ 碓層 ⑥ 倒置（硯部内面に降灰） ⑧ PL. 17, Ph. 52
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径15.8 硏面径10.1 残存高2.6	
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28		
元興寺 6 B G N			
422	① 374次	② 元興寺旧境内（大乗院） 6BGN CF37 040823	③ 灰褐土 ⑥ 倒置（硯部内面に降灰） ⑧ Ph. 52
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 外堤径13.4 硏面径11.5 残存高2.0	
	⑦ 奈文研2005『紀要2005』		
	⑨ 硏裏面に重焼き痕（径約9.0cm）		
法隆寺 6 B H R			
423	① 123-43次	② 法隆寺西院 6BHR 講堂東トレ（東西トレ）800707	③ 東西溝 ⑥ 倒置（脚部外面、内面下方に自然釉） ⑧ Ph. 52
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.9	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』		
	⑨ 長方形透孔		
424	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 正置（脚部上面に降灰） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 425~435と同一個体カ		
425	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 正置（脚部上面に降灰） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 424・426~435と同一個体カ		
426	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.1	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔 424・425・427~435と同一個体カ		
427	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.1	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔 424~426・428~435と同一個体カ		
428	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.6	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔 424~427・429~435と同一個体カ		
429	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔 424~428・430~435と同一個体カ		
430	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑧ PL. 18, Ph. 53
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		
	⑨ 長方形透孔 424~429・431~435と同一個体カ		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 琥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
431	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~430・432~435と同一個体カ			
432	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~431・433~435と同一個体カ			
433	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~432・434・435と同一個体カ			
434	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明 (脚部内外面に降灰)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~433・435と同一個体カ			
435	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑	SK2135
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 不明 (脚部内面の一部に降灰)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~434と同一個体カ			
436	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I F区 811204	③ 黒褐土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存長3.4	⑥ 正置 (脚台部上面に降灰)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線2条			
437	① 131-35次	② 法隆寺西院妻室・綱封藏南方 6BHR 128区 81-12- I G区 811207	③ 土坑3 黒褐土	SK2135
	④ 風字硯	⑤ 残存長6.2 残存幅4.4 残存高2.9	⑥ 倒置 (硯裏面に自然釉)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨			
438	① 151-38次・141-39次	② 法隆寺律学院北方・大宝藏殿内東側 6BHR 151区 UI47 831203/213区 82-5- III C区 820810	③ SX191 灰褐砂層/瓦溜 SD6191・SX4560	
	④ 獣脚円面硯	⑤ 外堤径26.0 硯面径19.6 器高5.6	⑥ 正置 (海部に降灰)	
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』PL. 92-266		⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 復原脚数9 SD6191共伴土器は6世紀中頃～7世紀前半、SX4560共伴土器は7世紀前半			
439	① 151-38次	② 法隆寺律学院北方 6BHR 収蔵庫 831029	③ 暗茶褐色砂質土	
	④ 円面硯 (無脚)	⑤ 硯面径10.0 底部径15.8 器高3.4	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 法隆寺発掘調査概報編集小委員会編1984『法隆寺発掘調査概報 III』第60図7		⑧ PL. 18, Ph. 54	
	⑨ 硯部内面に重焼き痕 (径11.0cm) 獣脚円面硯の可能性あり			
440	① 226次	② 法隆寺食堂北方 6BHR 北室南 911030	③ 焼土層	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.0 硯面径9.0 残存高2.2	⑥ 正置 (海部に降灰)	
	⑦ 奈文研1992『1991年度平城概報』		⑧ PL. 18, Ph. 54	
	⑨ 外堤部外面にヘラ描き波状文3条 硯面に凹みあり 海部に重焼き痕 (径10.2cm)			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
海竜王寺 6 BKA				
441	① 164-24次	② 海竜王寺旧境内北方 6BKA 860212	③ 東西大溝下層 暗灰バラス	SD1140
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径19.6 残存高5.8	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1986『昭和60年度平城概報』			⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 長方形+花頭文形透孔 共伴土器は平城IV~V			
興福寺 6 BKF				
442	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630619	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 残存高4.6	⑥ 正置 (外提部外面、脚頭部に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 54
	⑨ 443と同一個体カ			
443	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW17	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置 (外提部外面、脚頭部に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 54
	⑨ 442と同一個体カ			
444	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX17/IW17 630530/630605	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径12.0 硯面径10.0 底部径14.3 器高4.2	⑥ 正置 (硯面、突帶上面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図2、第231図4			⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、十字形透孔×4 復原脚数8			
445	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.0 硯面径7.0 底部径15.0 器高6.3	⑥ 倒置 (硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図4			⑧ PL. 18, Ph. 5
	⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数19 硯裏面にヘラ描き沈線「廣大」			
446	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17 630531	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.2 硯面径9.0 残存高2.8	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 長方形透孔×8、宝珠形カ透孔×4			
447	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV15	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径12.5 硯面径8.6	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 硯部内面に研磨痕			
448	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630621	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.0 硯面径5.6 残存高1.5	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27			
449	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14/IW14 630618/630612	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.4 硯面径7.4 残存高2.0	⑥ 倒置 (硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図1			⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17~18			
450	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径12.1 硯面径6.4 残存高2.2	⑥ 正置 (突帶上面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	④ 砥形式	⑤ 法 量	⑦ 概報・報告		
451	⑨ 備 考				
451	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17 630601	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.7 砥面径6.6 残存高2.0	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 55	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21 砥裏面に重焼き痕（径5.7）				
452	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW17 630604	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.2 砥面径8.4 残存高1.9	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 55	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21				
453	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU17西部 630420	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 砥面径6.0 残存高1.7	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨				
454	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV15 630530	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.8 砥面径13.6 底部径19.0 器高7.2	⑥ 正置（外堤部上面、突帯上面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図6			⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、四弁文透孔×4 脚柱外面にヘラ描き波状文4条 砥部内面に朱付着 463と同一個体カ				
455	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU17 630412	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径13.7 砥面径12.0 底部径17.5 器高6.1	⑥ 倒置（脚台部内面、硯部内面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図5、第231図3			⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数17				
456	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX14 630615	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径8.0 砥面径6.6 残存高1.6	⑥ 倒置（硯部内面、突帯下面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数13				
457	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU16 630410	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.4 砥面径10.4 残存高3.6	⑥ 正置（硯面、突帯上面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図7			⑧ PL. 18, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔				
458	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU15 630523	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径16.6 砥面径10.5 残存高3.2	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔 外堤部外面にヘラ描き波状文2条 砥裏面に重焼き痕（径約6.0cm）				
459	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15/IY17/IX17 630610/630611/630608	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径13.8 砥面径11.6 残存高5.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 56	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14				
460	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU15 630523	③ 宸殿下層下土坑		
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径19.0 砥面径16.2 残存高3.2	⑥ 正置（硯面、突帯上面に降灰）		
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26				

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 積形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph		
	⑨ 備 考			
461	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15 630610	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.4 砥面径7.4 残存高2.7	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17~18			
462	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX14 630615	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径20.4 残存高3.9	⑥ 正置 (突帶上面に自然釉)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16			
463	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU17 6304ZZ	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径10.2 残存高3.9	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 18, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き波状文2条以上 454と同一個体カ			
464	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径15.0 残存高2.3	⑥ 倒置 (硯部内面、外堤部外面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨			
465	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IT14	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径11.4 残存高2.2	⑥ 倒置 (硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17 526と同一個体カ			
466	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径14.0 残存高2.4	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨			
467	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径15.4 残存高1.9	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 57
	⑨			
468	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外堤径12.0 残存高1.8	⑥ 正置 (突帶上面、外堤部上面に降灰)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔			
469	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長1.4	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 57
	⑨			
470	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宰殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.5	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』			⑧ Ph. 57
	⑨ 長方形透孔			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 積形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph		
⑨ 備 考				
471	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX17 630530	③ 基壇下宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存高0.9	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22~23 472と同一個体カ			
472	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX17	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高1.7	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔 471と同一個体カ			
473	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14	③ 基壇下宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径9.2 残存高1.2	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17			
474	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX16	③ 基壇下宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径11.8 残存高1.5	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 57	
	⑨			
475	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径13.4 残存高1.6	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 57	
	⑨			
476	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径14.0 残存高3.0	⑥ 倒置（脚台部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19			
477	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径22.8 残存高2.2	⑥ 正置（脚台部外面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔			
478	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15 630610	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径16.6 残存高2.5	⑥ 倒置（脚台部下面、脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20			
479	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU17 630423	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径17.2 残存高2.5	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21			
480	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV15	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径21.8 残存高1.4	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 57	
	⑨ 長方形透孔			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 積形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
481	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IT16 6304ZZ	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径17.6 残存高1.0	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
482	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.0 残存高1.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
483	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高1.2	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 484と同一個体カ		
484	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径18.2 残存高1.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 483と同一個体カ		
485	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630612	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径22.3 残存高3.3	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条以上		
486	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径14.3 残存高0.9	⑥ 倒置（脚台部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
487	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高4.2	⑥ 正置（脚台部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に細い沈線1条（透孔位置の基線カ）		
488	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.3	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
489	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
490	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 正置（脚部外面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 研形式	⑤ 法 量	⑥ 燃成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
491	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長2.8 ⑥ 正置（脚部外面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔 脚部外面に沈線ヨコ1条
492	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.1 ⑥ 倒置（脚部内面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
493	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY16	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.0 ⑥ 倒置（脚部内面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
494	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長2.4 ⑥ 倒置（脚部内面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
495	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.2 ⑥ 倒置（脚部内面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
496	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.8 ⑥ 倒置（脚部内面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
497	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長1.6 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
498	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.2 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
499	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.8 ⑥ 正置（脚部外面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
500	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14	③宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.4 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔 脚柱下端に沈線1条（透孔位置の基線カ）

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 硯形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
501	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU16	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長2.5 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
502	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.9 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
503	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.4 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
504	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX14	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.0 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
505	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長2.7 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
506	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長2.1 ⑥ 正置（脚部外面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
507	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.6 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔 脚柱下端に沈線1条（透孔位置の基線カ）
508	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV15 630523	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.3 ⑥ 倒置（脚部内面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
509	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU16 630424	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長3.7 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔
510	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑 ④ 圈足円面硯 ⑤ 残存長4.6 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄闕移築工事報告書』 ⑧ Ph. 58 ⑨ 長方形透孔

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	④ 研形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考							
511	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY17 630611	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長4.1	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔							
512	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長7.1	⑥ 正置（脚部外側に降灰）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外側にヘラ描き沈線タテ1条							
513	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長2.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外側にヘラ描き沈線タテ1条以上							
514	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW17/IY15 630608/	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高7.8	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外側にヘラ描き沈線タテ1条 515と同一個体カ							
515	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ PL. 19, Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外側に綾杉文状ヘラ描き沈線 514と同一個体カ							
516	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU16 630425	③ 黒土中宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長6.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外側にヘラ描き沈線タテ2条以上、ヨコ1条以上							
517	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔							
518	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630620	③ 基壇下宸殿下層下土坑	④ 圈足円面硯	⑤ 残存長3.3	⑥ 正置（脚部外側に降灰）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔、宝珠形透孔							
519	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17 630530	③ 宸殿下層下土坑	④ 円面硯	⑤ 研面径11.8 残存高1.3	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨							
520	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV15上 630531	③ 宸殿下層下土坑	④ 円面硯	⑤ 研面径13.6 残存高2.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』	⑧ Ph. 59
	⑨							

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 砥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告	⑧ PL, Ph		
	⑨ 備 考			
521	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX16 630607	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 砥面径10.8 残存高0.9	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨			
522	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 砥面径11.6 残存高1.2	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨ 硯部内面に重焼き痕（径14.7cm）			
523	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IX16 630523	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 砥面径9.2 残存高0.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨			
524	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 砥面径5.5 残存高1.1	⑥ 正置（硯面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨			
525	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 基壇下宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 砥面径14.2 残存高1.1	⑥ 正置（硯面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨			
526	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IT14	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 60	
	⑨ 465と同一個体カ			
527	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.4	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
528	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
529	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置（硯部内面に自然釉）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨ 円面硯でない可能性あり			
530	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑	
	④ 円面硯	⑤ 残存長3.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）	
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』		⑧ Ph. 60	
	⑨ 円面硯でない可能性あり			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 琥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
⑦ 概報・報告			
⑨ 備 考			
531	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU17 630418	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑 ④ 宝珠硯 ⑤ 残存長6.6 残存幅9.3 残存高2.5 ⑥ 倒置（硯裏面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』第22図3 ⑧ PL. 19, Ph. 60 ⑨ 重要文化財
532	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑 ④ 宝珠硯 ⑤ 残存長4.3 残存高1.6 ⑥ 倒置（硯裏面、外堤部外面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 60 ⑨
533	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑 ④ 宝珠硯か風字硯 ⑤ 残存高2.8 ⑥ 倒置（脚部外面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 60 ⑨ 脚部のみ残存
534	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW17 630617	③ 宸殿下層下土坑 ④ 形象硯（亀形硯） ⑤ 残存長5.3 残存幅2.7 残存高3.3 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ PL. 19, Ph. 60 ⑨ 重要文化財 535と同一個体カ
535	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 宸殿下層下土坑 ④ 形象硯（亀形硯） ⑤ 残存長4.3 残存幅3.8 残存高1.4 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ PL. 19, Ph. 60 ⑨ 重要文化財 534と同一個体カ
536	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑 ④ 形象硯（鳥形硯） ⑤ 残存長1.9 残存幅3.8 残存高4.6 ⑥ 不明（明確な窯痕跡なし） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ PL. 20, Ph. 61 ⑨ 砯でない可能性あり
537	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IW14 630615	③ 宸殿下層下土坑 ④ 形象硯（鳥または亀形硯の蓋） ⑤ 残存長10.3 残存幅6.6 残存高1.4 ⑥ 正置（外面に降灰） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ PL. 20, Ph. 61 ⑨ 内面に火櫻あり
538	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU16西	③ 宸殿下層下土坑 ④ 風字硯 ⑤ 残存長3.2 残存高1.0 ⑥ 倒置（硯裏面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 61 ⑨
539	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑 ④ 風字硯 ⑤ 残存長2.2 残存高3.5 ⑥ 倒置（硯裏面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 61 ⑨
540	① 17-1次	② 興福寺一乘院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑 ④ 特殊硯 ⑤ 残存高3.0 ⑥ 倒置（硯裏面に自然釉） ⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乘院宸殿・殿上及び玄関移築工事報告書』 ⑧ Ph. 61 ⑨ 砯でない可能性あり

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 砥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
541	① 308次	② 興福寺中金堂院 6BKF LE19 991206	③ 灰色粘土	
	④ 円面硯(無脚・八角形)	⑤ 外堤最大幅18.9 外堤最小幅17.1 砥面径11.4 器高1.5	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2000『年報2000-III』			⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨			
542	① 321次	② 興福寺一乘院 6BKF OI47 001114	③ 灰色粘土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 砥面径8.0 残存高2.2	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』図136-2			⑧ Ph. 61
	⑨			
543	① 321次	② 興福寺一乘院 6BKF OI47 001108	③ 瓦土坑 3	SK7860
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長7.7 残存幅8.7 残存高1.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』図136-1			⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨			
544	① 350次	② 興福寺一乘院 6BKF OO51 021224	③ 池 赤褐色	SG8463
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 砥面径5.6 残存高1.0	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』			⑧ Ph. 61
	⑨			
545	① 350次	② 興福寺一乘院 6BKF OJ58 021031	③ 大瓦土坑	SK8480
	④ 円面硯	⑤ 砥面径7.6 残存高0.9	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』			⑧ Ph. 61
	⑨			
西大寺 6 B SD				
546	① 341次	② 西大寺四王堂北東 6BSD EE63 020201	③ 抜取穴	SA895
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径11.0 砥面径6.3 残存高1.5	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』			⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27			
547	① 391次	② 西大寺旧境内東部 6BSD DM65 050705	③ 瓦混整地土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 砥面径8.0 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研2006『紀要2006』(一覧表のみ)			⑧ Ph. 62
	⑨			
西隆寺 6 B S R				
548	① 74-12次(西隆寺 3 次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KK12 711216	③ 灰黒砂土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 最大径16.8 残存高2.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)	
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』			⑧ Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27			
549	① 74-12次(西隆寺 3 次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KF16 711223	③ 灰褐土	SD110
	④ 圈足円面硯	⑤ 砥面径6.4 残存高1.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)	
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図2			⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26 外形八花形カ(外堤部、硯面に挟入り箇所あり)			
550	① 82-13次(西隆寺 5 次)	② 西隆寺寺域北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 北東西溝	SD235
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径8.8 砥面径5.4 残存高1.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図1			⑧ PL. 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 観形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
551	① 82-13次(西隆寺5次)	② 西隆寺寺域北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 北の東西溝	SD215
	④ 圈足円面覗 a	⑤ 外堤径5.8 観面径3.6 残存高1.2	⑥ 正置(覗面、突帯上面に降灰)	
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図3		⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔			
552	① 202-14次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OA77 900227	③ 暗灰褐土	
	④ 圈足円面覗	⑤ 残存高3.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1990『1989年度概報』(一覧表のみ)		⑧ Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔			
553	① 209次	② 西隆寺金堂東方 6BSR PB42 891021	③ 淡灰褐土	
	④ 圈足円面覗 a	⑤ 観面径5.0 残存高1.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-601		⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条、ナナメ1条			
554	① 210次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR RM17 891226	③ 土坑	
	④ 圈足円面覗	⑤ 底部径23.8 残存高2.3	⑥ 正置(脚台部外面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-607		⑧ PL. 20, Ph. 62	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29			
555	① 219次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QR23 910219	③ 井戸埋土	SE491
	④ 圈足円面覗	⑤ 底部径23.8 残存高3.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-609		⑧ PL. 21, Ph. 62	
	⑨ 脚部外面にヘラ描き沈線4条以上 陶覗でない可能性あり			
556	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QG45	③ 瓦溜	
	④ 圈足円面覗	⑤ 残存長3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-608		⑧ PL. 21, Ph. 62	
	⑨ 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条			
557	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QJ39 920118	③ 瓦混灰茶砂質土	
	④ 圈足円面覗	⑤ 残存長10.6 残存高1.6	⑥ 正置(海部、突帯上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-606		⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔 透孔に広狭あり、5(広)+5(狭) 復原脚数10			
558	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QI36 910205	③ 灰褐粘質土	
	④ 形象覗	⑤ 残存長6.8 残存幅8.3 残存高4.8	⑥ 正置(覗面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-604		⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨			
559	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QN36 910906	③ 黄灰砂質土	
	④ 圈足円面覗 b	⑤ 外堤径16.4 観面径8.8 残存高2.9	⑥ 倒置(覗部内面、突帯下面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-603		⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16			
560	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QQ36 91817	③ 灰褐砂質土	
	④ 圈足円面覗 a	⑤ 観面径13.2 残存高3.8	⑥ 正置(突帯上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-602		⑧ PL. 21, Ph. 63	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 観形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	⑧ PL, Ph
	⑦ 概報・報告			
	⑨ 備 考			
561	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QQ36 910902	③ 黄灰砂質土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 砯面径15.6 残存高3.9	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-605			⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔 脚部外面にヘラ描き沈線1条			
562	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QO37 910818	③ 灰褐砂質土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置 (脚台部上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52)			⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔 蹄脚円面硯B様の脚台部の成形			
563	① 242-12次	② 西隆寺金堂南東方 6BSR DL54 931210	③ 大土坑	SE649 (SE01)
	④ 蹄脚円面硯B	⑤ 砯面径21.8 底部径29.5 器高11.6	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1994『1993年度平城概報』図56			⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 復原脚数19			
564	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OM72 010306	③ 畦下茶灰土	
	④ 圈足円面硯c	⑤ 外径11.2 砯面径8.5 残存高2.0	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』			⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨			
565	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OJ72 010126	③ 南北溝3	SD914
	④ 円面硯	⑤ 砯面径12.1 残存高1.1	⑥ 倒置 (硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』			⑧ Ph. 64
	⑨ 共伴土器は～平城IV			
東大寺 6 B T D				
566	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD 790830	③ 上土、土器溜り	
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長4.6 残存幅2.6 残存高3.0	⑥	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 概報では次数なし			
567	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD AI区 790910	③ 西端土坑(井戸)	SE04
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長8.4 残存幅4.6 残存高3.3	⑥	
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 概報では次数なし			
唐招提寺 6 B T S				
568	① 54-1次	② 唐招提寺収蔵庫予定地 6BTS CJ36 680719	③ 橙褐灰土	
	④ 圈足円面硯a	⑤ 外径23.0 砯面径15.4 底部径23.1 器高2.6	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦			⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 長方形(横長)透孔、復原脚数4			
569	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780610	③ 東北部 磐石? 周辺 黄褐粘質土	
	④ 圈足円面硯a	⑤ 外径15.0 砯面径10.2 残存高4.0	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8			
570	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 黄灰褐ブロック混粘質土	
	④ 圈足円面硯	⑤ 外径11.4 残存高1.5	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 65
	⑨			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 琥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡	
	⑦ 概報・報告			⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考			
571	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 裏込上(東)	
	④ 圈足円面硯	⑤ 底部径29.4 残存高1.5	⑥ 正置(脚台部上面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 65
	⑨ 長方形透孔、復原脚数36			
572	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780618	③ 黄褐色質土	
	④ 特殊硯	⑤ 残存長7.0 残存幅8.6 残存高4.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』			⑧ PL. 21, Ph. 65
	⑨ 筆立て状の穿孔あり			
薬師寺 6 BYS				
573	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FT71 650212	③ 土坑	
	④ 風字硯	⑤ 残存長3.5 残存高3.7	⑥ 倒置(脚部に自然釉)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨			
574	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FR60 650131	③ 井戸上	SE048
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長6.1 残存高1.8	⑥	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨ 硯でない可能性あり			
575	① 23-2次	② 薬師寺旧東僧房北方 6BYS FZ61 650128	③ 第2層	
	④ 形象硯	⑤ 残存長7.2 残存幅7.4 残存高3.2	⑥ 正置(尾部上面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨ 鳥形硯の尾部カ			
576	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LG17 741112	③ 焼土	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 硯面径7.8 残存高1.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨ 長方形透孔			
577	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LF15 741128	③ 溝 暗青灰土	
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高3.3	⑥ 正置(突帯上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨ 長方形透孔 578と同一個体カ			
578	① 88-21次	② 薬師寺本坊北方 6BYS NN19 741112	③ 黒褐色質土	
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高2.5	⑥ 正置(突帯上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 65
	⑨ 長方形透孔 577と同一個体カ			
579	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS HC50 741120	③ 床面	
	④ 風字硯(二面風字硯)	⑤ 残存長13.7 器幅14.8 残存高3.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨			
580	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK32/HL32 750918/750918	③ 土坑	
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 硯面径8.0 残存高2.4	⑥ 倒置(硯部内面に自然釉)	
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)			⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26			

番号	① 次 数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 砥形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
⑦ 概報・報告			
⑨ 備 考			
581	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK31 750918	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 a	⑤ 外堤径10.3 砥面径6.0 残存高2.8	⑥ 正置(外堤部上面・外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-255		⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨ 長方形透孔×8、杏仁形透孔×4、復原脚数12		
582	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HL31 750918	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 b	⑤ 外堤径14.2 砥面径12.2 残存高2.1	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-256		⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8		
583	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780222	③ 土坑
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 外堤径20.0 砥面径13.4 残存高4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数17 外堤部外面に墨画あり		
584	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LJ15 780203	③ 暗渠
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 砥面径15.6 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数22~23 585と同一個体カ		
585	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LK11 780206	③ 土坑
	④ 圈足円面硯 c	⑤ 砥面径15.6 残存高1.6	⑥ 倒置(突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数22~23 584と同一個体カ		
586	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長4.8 残存高1.9 残存幅5.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 587と同一個体カ		
587	① 103-24次	② 薬師寺十字廊 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長6.5 残存幅6.5 残存高2.0	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 586と同一個体カ 海部に重焼きの溶着痕あり		